地域の絆が命を救う

シリーズ 自主防災組織 3

自分のまちは自分で守る

防災士として夫婦で啓発活動に従事

糸島防災士会「てまがえ隊」

田中清和さん・美枝子さん

〈**てまがえ隊**〉隊の名称は、農作業などで地域の人が協力し労力を出し合う「手間替え」に由来。てまがえの「結（ゆい）」の精神で防災活動を展開したいという思いが込められています。

糸島市在住の防災士が集い、地域住民と助け合いながら防災活動を行う目的で、平成21年8月に設立された糸島防災士会「てまがえ隊」。消防職員（現役・OB）、社会福祉協議会職員、会社員、郵便局員、主婦などで構成されるボランティア組織で、今年10月現在で、20代～60代の28人（うち女性12人）が参加しています。

ゲリラ豪雨で設立発起

てまがえ隊設立のきっかけとなったのは、平成21年7月21日、糸島を襲ったゲリラ豪雨。当時、消防本部で通信指令室担当だった清和さんは、「恐怖を感じた高齢者などから、次々に119番通報が入りました。夜7時前後で、消防署は人員が少ない時間帯。隊員の体制が整わずパニック状態になりかけるなど、39年間の消防署勤務で、これまでにない経験をしました」と当時を振り返ります。この時、地域による連絡・見回り体制の整備や、日ごろの防災活動の必要性を痛感。先に防災士となった美枝子さんと市内の防災士が数人集まり、他の防災士に呼びかけ「てまがえ隊」を結成するに至ったそうです。

防災を学んで行動を

現在、てまがえ隊は、自治会やサークルを対象に、防災教室や救急救命講習など、市民への啓発活動を行っています。糸島市の呼びかけで自主防災組織が徐々に設立されていく中、田中さん夫妻は「大災害発生時、自助・共助・公助の割合は7：2：1。自分の命は自分で守る発想がたいせつ。併せて、地域や近隣の人々が互いに協力しながら、組織的に防災活動に取り組むことが必要。自主防災組織をつくって安心せず、地図で危険箇所を確認し、自分の足でまちを歩き、記録し、訓練してほしい。その繰り返しで非常時にとっさに動くことができ、判断できるのです」と日ごろからの備えと、意識改革の重要性を訴えます。

「てまがえ隊は、要請があれば、自主防災組織の立ち上げや機能拡充のお手伝いをします」と協力的。清和さんを含む5人は福岡県から認定された「災害図上訓練指導員」という心強い存在でもあります。てまがえ隊の力を借りて、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災の意識を強くしましょう。

子どもたちに消火器の使い方を指導中

※防災士とは、特定非営利活動法人 日本防災士機構に認定された、地域・社会の防災力向上のために必要な意識・知識・技能を有する人。災害発生時には、いち早く被災現場で役に立つ活動を行うことが求められるため、社会のあらゆる地域や職場で防災士が存在し活躍することが望まれます。指定の研修講座を受講し試験に合格すれば、年齢・職種・国籍を問わず、誰でもなることができます。

詳しくは、日本防災士機構の公式ホームページhttp://www.bousaisi.jpをご覧ください。

フレッシュ糸島 #16 Fresh Itoshima

女子プロ野球選手という夢に向かう

可也小学校6年生

山本 千尋（やまもと ちひろ）さん

福岡県タレント発掘事業の育成プログラムで、さらなる能力を開発中

スポーツ万能の山本さん。家族全員が野球好きで、特に3歳年上のお兄さんが野球をする姿に影響を受け、小さいころからお父さんと庭でティーバッティングやキャッチボールをしていました。

小学4年生の時、自ら地元の少年野球チームである「可也ジュニアロイヤルズ」に入団。唯一の女子部員ながらレギュラーとしてショートを任され、守備の要を担っています。100m走13秒94という俊足を生かし、打順は1番。出塁すると果敢に盗塁を狙い、ランニングホームランもたびたび放っています。読売ジャイアンツの坂本勇人選手のように、攻守でキレのあるプレーをすることが目標です。

足の速さの他、跳躍などの基礎的な運動能力が評価され、平成23年度福岡県タレント発掘事業で、県内選抜の小学6年生35人のうちの1人に選出されました。この事業では、子どもの得意な能力を伸ばしつつ、潜在する能力を開発・育成するためのさまざまなプログラムが用意され、将来のトップアスリートに必要な能力を身に付けるための訓練が実施されています。

未体験の分野にも挑戦しています

山本さんも毎週土曜日にこのプログラムに取り組み、フェンシング・テニス・スケートなど、未体験の分野にも積極的に挑戦中。「初めて体験するスポーツも、教えてもらい実際にできるようになったときは嬉しくて達成感がある」とやりがいを感じながら、その才能をどんどん伸ばしています。10月に行われた福岡県小学生秋季陸上競技大会では、ソフトボール投げ（6年生の部）で54m54cmの記録を出して見事1位に輝き、その強肩ぶりを見せつけました。

中学校ではソフトボール部か陸上部に入り、将来は「女子プロ野球選手」をめざすそうです。大きな夢に向かい、今できるさまざまなことに全力投球する彼女の姿は、希望に溢（あふ）れキラキラと輝いています。

うちの子紹介 16

田鋤 晃章（こうき）くん（長男・中）
智也（ともや）くん（次男・後）
二菜（にな）ちゃん（長女・前）
（10歳と8歳と6歳／美咲が丘）
正嗣さん・友香子さんの長男・次男・長女

毎週楽しみに通っている国術拳法。10月に行われた糸島市の大会では、3人とも入賞しました！

性格は、なぜかみんなマイペース。ケンカが絶えないけど、本当はとっても仲良し3兄妹です。

元気に大きくなって、自分の好きなことを頑張って、自分で選んだ道を歩んでほしいと思います。

市民のみなさんの、お子さんへのメッセージをお待ちしています。
申し込み・問い合わせ／糸島市秘書広報課 ☎(332)2111